

事例番号:370035

原因分析報告書要約版

産科医療補償制度
原因分析委員会第四部会

1. 事例の概要

1) 妊産婦等に関する情報

経産婦

2) 今回の妊娠経過

妊娠 28 週 2 日 超音波断層法で胎児の両側脳室の軽度拡大、右側脳室の後角に不整形の高エコー構造と比較的低エコー領域が地図状に存在し、midline は左側に偏倚を認める

妊娠 32 週 2 日 胎児 MRI で右脳室内血腫と脳室拡大を認める

3) 分娩のための入院時の状況

妊娠 38 週 1 日 既往帝王切開のため帝王切開目的および胎児水頭症のため入院

4) 分娩経過

妊娠 38 週 2 日

18:23 帝王切開で児娩出

5) 新生児期の経過

(1) 在胎週数:38 週 2 日

(2) 出生時体重:2200g 台

(3) 臍帯動脈血ガス分析:pH 7.32、BE -2.2mmol/L

(4) Apgar スコア:生後 1 分 8 点、生後 5 分 8 点

(5) 新生児蘇生:実施なし

(6) 診断等:

出生当日 出血後の脳室拡大疑い

(7) 頭部画像所見:

生後 6 日 頭部 MRI で著明な右脳室拡大および右大脳基底核は不明瞭、左も一部、脳室周囲に嚢胞形成を認め、右側脳室内に血腫を認める

6) 診療体制等に関する情報

(1) 施設区分: 病院

(2) 関わった医療スタッフの数

医師: 産科医 3 名、小児科医 3 名、麻酔科医 2 名、研修医 1 名

看護スタッフ: 助産師 3 名

2. 脳性麻痺発症の原因

(1) 脳性麻痺発症の原因は、妊娠 28 週 2 日より以前に生じた児の頭蓋内出血であると考えられる。

(2) 頭蓋内出血の原因は不明である。

3. 臨床経過に関する医学的評価 (2020 年 4 月改定の表現を使用)

1) 妊娠経過

(1) 妊娠 28 週 1 日、紹介元分娩機関において、超音波断層法で側脳室拡大疑いおよび胎児発育不全疑いのため、当該分娩機関へ紹介したことは一般的である。

(2) 当該分娩機関における妊娠中の管理(分娩監視装置装着、超音波断層法実施、胎児 MRI、脳神経外科併診)は一般的である。

2) 分娩経過

(1) 妊娠 38 週 1 日、帝王切開目的および胎児水頭症のため入院管理とし、妊娠 38 週 2 日に既往帝王切開後妊娠の適応で帝王切開を実施したことは一般的である。

(2) 臍帯動脈血ガス分析を実施したことは一般的である。

3) 新生児経過

出生後の新生児管理(脳室拡大疑いのため NICU 入院)は一般的である。

4. 今後の産科医療の質の向上のために検討すべき事項

1) 当該分娩機関における診療行為について検討すべき事項

なし。

2) 当該分娩機関における設備や診療体制について検討すべき事項

なし。

3) わが国における産科医療について検討すべき事項

(1) 学会・職能団体に対して

なし。

(2) 国・地方自治体に対して

なし。